

別紙様式第 1 号

(日本産業規格 A 列 4 番)

年 月 日

文部科学大臣

殿

住所 (法人にあっては、主
たる事務所の所在地)氏名 (法人にあっては、名
称及び代表者の氏名)

検 定 審 査 申 請 書

下記の申請図書について、審査を願いたく、申請図書 部及び
検定審査料 円を添えて申請します。

※受理番号			著 作 者 の 氏 名		
申請図書の 名 称					
目的と する	学 校		申請図書 の 体 裁	分 冊	
	教 科			判 型 (縦×横)	(mm× mm)
	種 目			全 体 の ペ ー ジ 数	())
	学 年			分冊ごとの ペ ー ジ 数	())
※受付年月日			※ 検定審査料 領 収 印		

(備考)

- ※欄には記入しない。
- 申請図書の体裁のページ数の欄の括弧には、第 1 の 1 (2)②イにより算定したページ数を記入すること。また、分冊がある場合には、分冊ごとのページ数も記入すること。
- 「判型」欄には、変型版の場合は、縦、横の寸法を記入する。

著作編修関係者名簿

住所 { 法 人 に あ つ て は 、 主
氏名 { 法 人 及 び 代 表 者 の 氏 名 }

※受理番号	学校	教科	種目	学年	※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名


奥付	氏名	ふりがな	都道府県	市町村	設置者	所属先分類	勤務先	役職	専門分野	担当箇所・役割	適切な情報管理の 対策状況

- (備考)
- 1 「著作編修関係者」には、教科書の編集・執筆を行った者のほか、事実上編著作に参加し、又はこれに協力した者を含み、例えば、教科書の編著者ではないが、原稿を読んで誤りを正したり不足を補ったりする作業を行い編著作に関与した者等も含む（奥付に記載されているかどうかは問わない。）。
 - 2 ※欄は検定申請時には記入せず、検定決定後に提出する際に記入する。
 - 3 「奥付」欄には、図書に代表として氏名を記載する予定の編著者等には◎を、図書に氏名を掲載する予定の編著者等には○を記入する（左記のいずれでもない者については何も記入しない。）。
 - 4 「設置者」欄には、国立、公立、私立、その他のいずれかを記入する。
 - 5 「所属先分類」欄には、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、大学、その他のいずれかを記入する。なお、義務教育学校の前期課程については小学校、義務教育学校の後期課程及び中等教育学校の前期課程については中学校、中等教育学校の後期課程については高等学校と記入する。
 - 6 「専門分野」欄には、大学等の研究者にあっては現在の研究分野を、また教諭等にあっては当該教科（種目）に関して主として研究してきた分野を具体的に記入する。
 - 7 「担当箇所・役割」欄には当該申請図書において担当した箇所を目次に示された項目等に沿って分かりやすく記入するとともに、監修、執筆、校閲、編修等著作編修における役割を実際に即して記入する。
 - 8 「適切な情報管理の対策状況」欄には、誓約書の受領など、適切な情報管理のための対策を講じたかどうか記入する。

年 月 日

文部科学大臣 殿

住所 [法人にあつては、主
たる事務所の所在地]

氏名 [法人にあつては、名
称及び代表者の氏名] 

申請図書等公開同意書

文部科学省に提出した下記1の申請図書について、当該申請図書及びその関連資料(下記2に示す資料)を、文部科学大臣が公開することに同意します。

なお、この同意に当たっては当該図書に係る著作権法第18条第1項に定める公表権を有する全ての者の同意を得ていることを確認します。

記

1 申請図書

- ・名称
- ・目的とする学校、教科、種目及び学年
- ・著作者の氏名

2 資料

- ①検定審査申請書、②検定審査申請書の添付書類、③申請図書の添付書類、
④不合格理由に対する反論書、⑤検定意見に対する意見申立書、⑥修正表、⑦見本
※④～⑦については、文部科学省に提出があつた場合のみ公開

年 月 日

文部科学大臣 殿

住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)

氏名 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)



誓約書

学校	教科

当者は、上記学校・教科において、教科用図書検定規則第7条第2項の規定及び同項に基づく教科用図書検定規則実施細則における規定に示す不公正な行為をしていないことをここに誓約いたします。

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		

1. 編修の基本方針																					
.....。																					
2. 対照表																					
(例)																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">図書の構成・内容</th> <th style="width: 30%;">特に意を用いた点や特色</th> <th style="width: 30%;">該当箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">.....。</td> <td style="padding: 5px;">..... (第〇号)。 (第〇号)。</td> <td style="padding: 5px;"> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">.....。</td> <td style="padding: 5px;">..... (第〇号)。 (第〇号)。</td> <td style="padding: 5px;"> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">.....。</td> <td style="padding: 5px;">..... (第〇号)。 (第〇号)。</td> <td style="padding: 5px;"> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">.....。</td> <td style="padding: 5px;">..... (第〇号)。 (第〇号)。</td> <td style="padding: 5px;"> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">.....。</td> <td style="padding: 5px;">..... (第〇号)。 (第〇号)。</td> <td style="padding: 5px;"> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">.....。</td> <td style="padding: 5px;">..... (第〇号)。 (第〇号)。</td> <td style="padding: 5px;"> </td> </tr> </tbody> </table>	図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所。 (第〇号)。 (第〇号)。	。 (第〇号)。 (第〇号)。	。 (第〇号)。 (第〇号)。	。 (第〇号)。 (第〇号)。	。 (第〇号)。 (第〇号)。	。 (第〇号)。 (第〇号)。	
図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所																			
.....。 (第〇号)。 (第〇号)。																				
.....。 (第〇号)。 (第〇号)。																				
.....。 (第〇号)。 (第〇号)。																				
.....。 (第〇号)。 (第〇号)。																				
.....。 (第〇号)。 (第〇号)。																				
.....。 (第〇号)。 (第〇号)。																				
3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色																					
.....。																					

- (備考) 1 ※欄は検定申請時には記入せず、検定決定後に提出する際に記入する。
- 2 「編修の基本方針」欄には、教育基本法第2条に示す教育の目標を達成するために編修の基本方針とした点を記入する。
- 3 「対照表」欄には、図書の構成・内容と教育基本法第2条各号に示す教育の目標との対照について記入する。詳細は次のとおりとする。
- ① 「特に意を用いた点や特色」欄には、教育基本法第2条各号に示す教育の目標を達成するために、図書の構成や内容において編修上特に意を用いた点や特色について記入する。その際、教育基本法第2条各号のうち、特に関連が深いものを文末に示す。(例：第○号)
 - ② 「該当箇所」欄には、上記内容に対応する具体的な箇所が分かるように、主な該当箇所のページ(例：○ページ)を記入する。
 - ③ 必要に応じ、例で示している様式を参考にして、「対照表」欄を適宜工夫して作成しても差し支えない。
- 4 「上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色」欄には、上記の記載事項以外に、教育基本法第5条に示す義務教育の目的や学校教育法第21条に示す義務教育の目標、学校教育法第51条に示す高等学校教育の目標などを達成するため、編修上特に意を用いた点や特色などがあれば記入する。
- 5 「編修の基本方針」欄以下の外枠線は、記入しなくても差し支えない。
- 6 別紙様式第5-1号の分量は5ページ以内とする。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		

1. 編修上特に意を用いた点や特色			
.....			
2. 対照表			
(例)			
図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
.....		
.....		
.....		
.....		
.....		
		計	

- (備考) 1 ※欄は検定申請時には記入せず、検定決定後に提出する際に記入する。
- 2 「編修上特に意を用いた点や特色」欄には、学習指導要領の総則や当該教科の目標を達成するため、編修上特に意を用いた点や特色を記入する。
- 3 「対照表」欄には、図書の構成・内容と学習指導要領に示す「内容」の各事項との対照について、「内容の取扱い」も踏まえて記入する。その際、「該当箇所」欄に、申請図書の該当箇所のページ(例：○～○ページ)を記入する。また、必要に応じ、例で示している様式を参考にして、「対照表」欄を適宜工夫して作成しても差し支えない。
- 4 「配當時数」欄には、申請図書で予定している配当授業時数を示すこと。なお、配当授業時数の記載が必要ない教科、種目については空欄でよい。
- 5 「編修上特に意を用いた点や特色」欄以下の外枠線は、記入しなくても差し支えない。
- 6 別紙様式第5-2号の分量は5ページ以内とする。

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		

ページ	記 述	類 型	関連する学習指導要領の内容 や内容の取扱いに示す事項	ページ数
合 計				

- (備考) 1 ※欄は検定申請時には記入せず、検定決定後に提出する際に記入する。
- 2 「ページ」欄には、申請図書における発展的な学習内容の記述の掲載ページを示す。
- 3 「記述」欄には、申請図書における発展的な学習内容の記述に付された表題等を示す。
- 4 「類型」欄には、申請図書における発展的な学習内容の記述について、以下の分類により該当する記号を記入する。
- ・ 学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容…… 1
 - ・ 学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容…… 2
- 5 「関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項」欄には、当該学年等の学習指導要領の内容や内容の取扱いに示すどの事項と関連があるのか分かるように記入する。
- 6 「ページ数」欄には、発展的な学習内容の記述が掲載されているページ数を記入する。ページの数え方は以下のとおりとする。「合計」欄には発展的な学習内容の記述の合計ページ数を記入する。
- ・ 0. 25ページ以下… 0. 25ページ
 - ・ 0. 25ページを超えて0. 5ページ以下… 0. 5ページ
 - ・ 0. 5ページを超えて0. 75ページ以下… 0. 75ページ
 - ・ 0. 75ページを超えて1ページ以下… 1ページ
- 7 別紙様式第5-3号の分量は2ページ以内とする。

年 月 日

文部科学大臣 殿

住所 [法人にあつては、主たる事務所の所在地]

氏名 [法人にあつては、名称及び代表者の氏名]



表 紙 等 提 出 届

下記の申請図書について、表紙等の見本を 部提出します。

受 理 番 号			
申 請 図 書 の 名 称			
著 作 者 の 氏 名			
目 的 と す る	学 校		
	教 科		
	種 目		
	学 年		
表 紙 等 提 出 期 限		※受 付 年 月 日	

(備考) ※欄には記入しない。

年 月 日

文部科学大臣 殿

住所 (法人にあつては、主
たる事務所の所在地)

氏名 (法人にあつては、名
称及び代表者の氏名)



申請図書 of 書名変更届

下記の申請図書について、以下のとおり図書の名称を変更したいので、届け出ます。

記

- 1 申請図書の名称
- 2 著作者の氏名
- 3 学校、教科、種目及び学年
- 4 受理番号

変更前	変更後

検 定 意 見 書

受理番号	学校	教科	種目	学年
------	----	----	----	----

番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定 基準
	ページ	行			

「検定基準」の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

年 月 日

文部科学大臣 殿

住所 [法人にあつては、主
たる事務所の所在地]

氏名 [法人にあつては、名
称及び代表者の氏名]



不合格理由に対する反論書

年 月 日付けで通知のあった下記の申請図書に関する不合格理由に対し、別紙のとおり反論がありますので、反論書を提出します。

記

- 1 申請図書の名称
- 2 著作者の氏名
- 3 目的とする学校、教科、種目及び学年
- 4 受理番号

別紙様式第 10 号別紙①

(日本産業規格 A 列 4 番)

受理番号	
------	--

番号	指摘箇所		指 摘 事 項	反 論
	ページ	行		

受理番号	
------	--

教科用図書検定規則第 7 条第 2 項の規定による検定審査不合格理由に対する反論

--

反 論 認 否 書

受理番号		学校	教科	種目	学年
------	--	----	----	----	----

番号	指摘箇所		指 摘 事 項	反 論 の 認 否	
	ページ	行		認否の別	認 め な い 理 由

反 論 認 否 書

受理番号		学校	教科	種目	学年
------	--	----	----	----	----

教科用図書検定規則第 7 条第 2 項の規定による 検定審査不合格理由に対する反論	反 論 の 認 否	
	認否の別	認めない理由

年 月 日

文部科学大臣

殿

住所 [法人にあつては、主
たる事務所の所在地]

氏名 [法人にあつては、名
称及び代表者の氏名]



検定意見に対する意見申立書

年 月 日付けで通知のあつた下記の申請図書に関する検定意見
について、別紙のとおり意見がありますので、意見申立書を提出します。

記

- 1 申請図書の名称
- 2 著作者の氏名
- 3 目的とする学校、教科、種目及び学年
- 4 受理番号

別紙様式第 12 号別紙

(日本産業規格 A 列 4 番)

受理番号	
------	--

番 号	指摘箇所		指 摘 事 項	意 見
	ページ	行		

申し立てられた意見の認否書

受理番号		学校	教科	種目	学年
------	--	----	----	----	----

番号	指摘箇所		指 摘 事 項	意 見 の 認 否	
	ページ	行		認否の別	認めない理由

年 月 日

文部科学大臣 殿

住所 [法人にあつては、主
たる事務所の所在地]

氏名 [法人にあつては、名
称及び代表者の氏名]



修正表提出届

年 月 日付けで検定意見の通知のあった下記の申請図書につ
いて、別紙の修正表を提出します。

記

- 1 申請図書の名称
- 2 著作者の氏名
- 3 目的とする学校、教科、種目及び学年
- 4 受理番号

別紙様式第 14 号別紙

(日本産業規格 A 列 3 番)

受理番号	
------	--

番 号	指摘箇所		原 文	修 正 文
	ページ	行		

年 月 日

文部科学大臣

殿

住所 [法人にあつては、主
たる事務所の所在地]

氏名 [法人にあつては、名
称及び代表者の氏名]



検定済図書の訂正申請書

下記の図書について、別紙のとおり訂正したいので、訂正本1部を添えて申請します。

記

- 1 図書の名称
- 2 著作者の氏名
- 3 目的とする学校、教科、種目及び学年
- 4 検定年月日
- 5 図書の記号・番号

別紙様式第 16 号別紙

(日本産業規格 A 列 4 番)


番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文	訂 正 理 由
	ページ	行			

図書の記号・番号

年 月 日

文部科学大臣 殿

住所 [法人にあつては、主
たる事務所の所在地]

氏名 [法人にあつては、名
称及び代表者の氏名] 

検定済図書 の 訂正届出書

下記の図書について、別紙のとおり訂正したいので、届け出ます。

記

- 1 図書の名称
- 2 著作者の氏名
- 3 目的とする学校、教科、種目及び学年
- 4 検定年月日
- 5 図書の記号・番号
- 6 訂正を行おうとする時期

別紙様式第 17 号別紙

(日本産業規格 A 列 4 番)

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文	訂 正 理 由
	ページ	行			

図書の記号・番号

年 月 日

文部科学大臣 殿

住所 [法人にあつては、主
たる事務所の所在地]

氏名 [法人にあつては、名
称及び代表者の氏名]

ウェブサイトのアドレス等が参 照させる内容の変更報告書

下記の図書について、別紙のとおり変更したいので、報告します。

記

- 1 図書の名称
- 2 著作者の氏名
- 3 目的とする学校、教科、種目及び学年
- 4 検定年月日
- 5 図書の記号・番号
- 6 報告を行おうとする時期

別紙様式第 18 号別紙

(日本産業規格 A 列 4 番)

番号		変更箇所		原 文	変 更 文	変 更 理 由
		ページ	行			

図書の記事・番号

年 月 日

文部科学大臣 殿

住所 [法人にあっては、主たる事務所の所在地]

氏名 [法人にあっては、名称及び代表者の氏名]



見 本 提 出 届

下記の図書について、見本 部を提出します。

図 書 の 名 称		
申請図書の受理番号		
目的とする	学 校	
	教 科	
	種 目	
	学 年	
見本の体裁	判 型	
	ページ数	
検定審査申請年月日		年 月 日
検定決定通知年月日		年 月 日

年 月 日

文部科学大臣

殿

住所

〔 法人にあつては、主
たる事務所の所在地 〕

氏名

〔 法人にあつては、名
称及び代表者の氏名 〕

奥付記載事項変更届

下記の図書について、奥付記載事項に変更がありましたので届け出ます。

記

- 1 図書の名称
- 2 著作者の氏名
- 3 目的とする学校、教科、種目及び学年
- 4 検定年月日
- 5 図書の記号・番号

変 更 内 容	変 更 前	変 更 後

- 1 「変更内容」の欄には、規則第19条第2項に該当することとなる変更の内容を記入する。
- 2 変更部分が容易に判別できるよう、「変更前」及び「変更後」の変更部分に下線を施すなどする。
- 3 記載事項に追加がある場合は「変更前」の欄に追加と記入し「変更後」の欄に追加事項を記入、削除がある場合は「変更前」の欄に削除事項を記入し「変更後」の欄に削除と記入する。

学年別使用漢字一覧表 (国語)

学 校	学年

① 当 該 学 年 配 当 漢 字	② 前 学 年 配 当 漢 字	③ 後の学年配当漢字及び漢字配当表掲載漢字以外の漢字
計 字	計 字	計 字

- (備考) 1 本様式は、学校、学年ごとに別葉とする。
- 2 申請図書に使用されている漢字の中で、当該学年で指導することとなる漢字のうち、小学校学習指導要領国語科の学年別漢字配当表（以下「漢字配当表」という。）で当該学年に配当されている漢字を「①」の欄に、当該学年の1学年前の学年に配当されている漢字を「②」の欄に、それぞれ記入する。ただし、中学校用図書については、「①」の欄は空欄とし、「②」の欄は漢字配当表で第6学年に配当されている漢字を記入（第3学年は記入の必要なし）する。また、それぞれの字の下には初出のページを示す。
- 3 「③」の欄には、申請図書に使用されている漢字の中で、当該学年より後の学年に配当されている漢字及び漢字配当表に掲載されている漢字以外の漢字を記入する。ただし、中学校用図書については、当該学年で指導することとなる常用漢字（漢字配当表に掲載されている漢字は除く）を記入する。また、それぞれの字の下に单元ごとの初出のページを示す。
- 4 「①」、「②」、「③」の各欄には、記入した漢字の合計数を記入する。
- 5 上記に相当するものが図書の巻末などに示されているときは、記載を省略してよい。

学年別使用漢字一覧表

学年

① 当該学年配当漢字	② 後の学年配当漢字及び漢字配当表掲載漢字以外の漢字
計 字	計 字

- (備考) 1 「①」の欄には、申請図書に使用されている漢字の中で、小学校学習指導要領国語科の学年別漢字配当表（以下「漢字配当表」という。）において当該学年に配当されている漢字を記入し、それぞれの字の下に各冊ごとの初出のページを示す。
- 2 「②」の欄には、申請図書に使用されている漢字の中で、漢字配当表において当該学年より後の学年に配当されている漢字及び漢字配当表に掲載されている漢字以外の漢字を記入する。また、それぞれの字の下に各冊ごとの初出のページを示す。
- 3 「①」、「②」の各欄には、記入した漢字の合計数を記入する。
- 4 上記に相当するものが図書の巻末などに示されているときは、記載を省略してよい。

出 典 一 覧 表

申請図書			出 典					備 考
ページ	名 称	種別	名 称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	

(備考) 1 「申請図書」の欄については次のとおりとする。

- ① 「ページ」の欄には、引用又は新たに作成した教材や資料等の申請図書における掲載ページを示す。
 - ② 「名称」の欄には、引用した教材や資料等の申請図書における名称を示す。
 - ③ 「種別」の欄には、国語教材、楽譜、写真、図、挿絵、表、グラフ、地図などの別を示す。
- 2 「出典」の欄については次のとおりとする。
- ① 出典が一般図書の場合は、当該図書の名称（版次を含む。）、掲載ページ、著作者・編集者等、発行者及び発行年次を各欄に示す。
 - ② 出典が定期刊行物の場合は、発行年次等欄に巻号、発行月日等を示す。
 - ③ 出典が図書でない場合には、備考欄に資料提供者や保有者の氏名又は名称、及び当該資料に付された整理番号等を示すなど、出典を確認することが可能な情報を記入する。
- 3 出典を基に申請図書の発行者が改変を行った場合又は新たに作成を行った場合は、「備考」欄にその旨を示す。
- 4 (1) 写真等については、肖像権の権利処理の確認を行うこと。
 (2) 著作物の掲載に当たっては、許諾を得ている場合を除き、著作権法第 33 条に基づき、掲載する旨を著作者に通知するとともに、
 補償金を著作権者に支払う必要があることに留意すること。

備考 4 の内容について確認しました。

ウェブサイト~~への~~のアドレス等の掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
(例) 1	15	URL	〇〇省	http://www. xxxxx. go. jp/xxxxxx/	〇〇省防災への取組のページ	別紙 1 添付
			〇〇〇	自社ページURL	防災に関する自社作成情報を掲載	
...。	

(備考)

申請図書中に発行者が管理するウェブサイト~~への~~のアドレス又は二次元コードその他のこれに代わるものを掲載する場合に、本表を以下のとおり作成する。

- 1 「申請図書」の欄については次のとおりとする。
 - ① 「番号」の欄は、複数のページ等に掲載されたウェブサイト~~への~~のアドレス等が同一のウェブサイト~~への~~を参照させる場合、一つの番号にまとめて記入する。
 - ② 「ページ」の欄は、ウェブサイト~~への~~のアドレス等の申請図書における掲載ページを示す。
 - ③ 「種別」の欄は、URL、二次元コード等の別を示す。
- 2 「学習上の参考に供する情報」の欄については次のとおりとする。
 - ① 「参照先」の欄には、発行者のページから参照させる学習上の参考に供するページを作成する団体名などを記入する。
 - ② 「URL」の欄には、実際に参照させる学習上の参考に供するページのURLを記載する。なお、参照先が発行者の作成したページである場合は、「自社ページURL」と記入する。
 - ③ 「概要」欄には、参照先における情報の内容を簡潔に記入する。
- 3 申請図書中のウェブサイト~~への~~のアドレス等が参照させるウェブサイト~~への~~の画面を印刷した紙面には、対応する本表の番号を紙面右上に付記し、本表に添付すること。
- 4 学習上の参考に供する情報を示すウェブサイト~~への~~が発行者において作成したページの場合、参照先のウェブサイト~~への~~の画面を印刷した紙面を、本表に添付すること。その際、「備考」の欄に「別紙1添付」などと記載し、印刷した紙面右上に「別紙1」などと記入すること。

ウェブサイトページのアドレス等の掲載箇所一覧表

(外国語 (英語) 音声に係るもの)

番 号	ページ	行	ウェブサイトページを参照させる手段 (URL、二次元コード等の別)
(例)			
1	10、12、14	脚注	URL
2	30、32、34	脚注	二次元コード

(備考)

- 1 図書の内容を音声化したファイルを掲載したウェブサイトページを参照させるため、ウェブサイトページのアドレス又は二次元コードその他のこれに代わるものの掲載箇所を記入する。
- 2 複数のページ等に記載されたウェブサイトページのアドレス等が同一のウェブサイトページを参照させる場合には、一つの番号にまとめて記入する。
- 3 ウェブサイトページのアドレス等が参照させるウェブサイトページの画面を印刷した紙面には、対応する本表の番号を紙面右上に付記し、本表に添付する。